

会 務

次期会長候補者の選出について

日本油化学会では、活発でより開かれた学会を目指すため、次期会長候補者を会員による直接選挙で選出することにし、平成15年度から実施しております。次期会長候補者は、会長就任の前年を副会長として務めることが内規で定められているため、河合武司会長の後任の会長は、平成30年度に理事に選任され、さらに副会長（代表理事）に選定されることが必要となります。平成30年度を代表理事・副会長として務めていただいた後、総会および理事会を経て、平成31年度会長に就任されることとなります。

注記：ここに述べる次期会長候補の選出とは、役員等候補者推薦委員会が総会および理事会に推薦する会長候補者を会員による直接選挙により選出することです。日本油化学会会長の選任・選定方法は定款に定められており、まず総会において社員（代議員）により理事が選任され、ついで理事会において理事の中から会長（代表理事）が選定されます。

次期会長候補者の募集

次期会長の立候補者および候補者推薦の募集は、会誌「オレオサイエンス」およびホームページにて公募します。

資 格：候補者の資格は、正会員（法人会員も含まれます）とします。

立候補：正会員（法人会員も含まれます）が立候補する場合は、正会員（法人会員も含まれます）合計3名の推薦人が必要です。

推 薦：正会員（法人会員も含まれます）が候補者を推薦する場合は、代表推薦人のほかに2名の推薦人が必要です。

選 挙 方 法

立候補者および推薦された候補者については、「オレオサイエンス 11月号」に掲載します。正会員（法人会員の代表者も含まれます）は、10月に配付される投票用紙に記載された候補者の中から次期会長にふさわしい候補者1名を選び、日本油化学会役員等候補者推薦委員会宛に、11月末日までに郵送していただきます。開票は、12月上旬に、役員等候補者推薦委員会委員、選挙管理委員会委員および監事により行い、最高得票数を得た者が次期会長候補者になります。得票数が同数の場合は会員在籍期間の長い者を次期会長候補者とします。次点者は、最高得票者がその役を遂行出来なくなった時に次期会長候補者となります。最高得票者と次点の候補者の氏名は、「オレオサイエンス 3月号」で会員にお知らせいたします。

注記：平成27年4月27日の定時総会にて、定款の変更が決議されました（平成27年4月28日施行）。

この変更により、「正会員」は、法人会員を含んだ会員として規定されました。なお、この変更により、従来の正会員（名誉会員、永年会員も含む）に付与されていた議決権（代議員の選挙権・被選挙権）が、法人会員代表者の皆様にも付与されました。

次期会長候補者の立候補者および推薦者募集

平成 29 年度役員等候補者推薦委員会
委員長 辻野 義雄

平成 31 年度および 32 年度に就任する会長の候補者として、立候補される方および候補者を推薦される方を募集します。

*次期会長候補者として立候補される方は、「日本油化学会次期会長候補者立候補届（書式-1）」および「日本油化学会次期会長候補者プロフィール（書式-2）」に必要事項を記載のうえ、役員等候補者推薦委員会までお送りください。

*次期会長候補者を推薦される方は、「日本油化学会次期会長候補者推薦届（書式-3）」および「日本油化学会次期会長候補者プロフィール（書式-2）」に必要事項を記載のうえ、役員等候補者推薦委員会までお送りください。

次期会長候補者のプロフィールは、会員が会長を選出する際に必要な情報ですので会誌に掲載されますし、投票用紙に転載されますことをあらかじめご了承ください。立候補または推薦の届出に必要な書類は、日本油化学会事務局までご請求ください。

届出書類の送付先 : 〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-13-11 油脂工業会館
 公益社団法人日本油化学会「役員等候補者推薦委員会」宛
立候補および推薦の締切 : 平成 29 年 8 月 31 日（月）（必着）